

2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月13日

上場会社名 株式会社メディアドゥホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3678 URL https://mediado.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 藤田 恭嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上級執行役員CFO (氏名) 片山 誠 TEL 03-6212-5113
 四半期報告書提出予定日 2018年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第1四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	10,708	38.2	186	25.4	189	104.8	62	—
2018年2月期第1四半期	7,746	—	149	—	92	—	△21	—

(注) 包括利益 2019年2月期第1四半期 69百万円 (405.7%) 2018年2月期第1四半期 13百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	5.45	4.61
2018年2月期第1四半期	△2.12	—

※1 2018年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※2 2018年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	26,883	4,164	15.1
2018年2月期	26,699	4,218	15.3

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 4,047百万円 2018年2月期 4,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	—	—	10.50	10.50
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2019年2月期につきましては、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	20.9	930	—	940	13.1	450	25.6	39.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※2019年2月期の連結業績予想につきまして、公表を延期しておりましたが、概ね算定可能な状態になりましたので、公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	11,389,200株	2018年2月期	11,389,200株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	89株	2018年2月期	89株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	11,389,111株	2018年2月期1Q	10,050,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に掲載されている業績等の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2018年7月17日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催します。説明会資料は、説明会終了後 T D n e t にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当社グループは「著作物のデジタル流通」を事業コンセプトとして、「ひとつでも多くのコンテンツをひとりでも多くの人へ」をミッションとして掲げ、著作物の健全な創造サイクルを実現することを目指しております。

著作権法第一条にある『著作物は文化の発展に寄与』、『著作物の利用と保護の調和』を第一義に、デジタル化された数多くの著作物をより多くの人に届け、その利用における適正な対価を著作者に還元し、また新たな著作物が創造されるよう“著作物の健全な創造サイクル”の一翼を担うことを目的に事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,708,386千円（前年同期比38.2%増）、営業利益は186,949千円（前年同期比25.4%増）、経常利益は189,160千円（前年同期比104.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62,149千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21,351千円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

（電子書籍流通事業）

電子書籍流通事業につきましては、売上高は10,510,736千円（前年同期比41.1%増）、セグメント利益は196,434千円（前年同期比25.7%増）となりました。

（メディア・プロモーション事業）

メディア・プロモーション事業につきましては、売上高は131,403千円（前年同期比38.6%減）、セグメント損失は21,971千円（前年同期はセグメント損失22,672千円）となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、売上高は66,246千円（前年同期比23.1%減）、セグメント利益は21,207千円（前年同期比36.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、26,883,733千円となり前連結会計年度末と比べ184,055千円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末と比べ293,473千円増加し、14,880,309千円となりました。

主な要因は、売上高増加に伴い売掛金が918,048千円増加する一方で、現金及び預金が855,233千円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比べ109,418千円減少し、12,003,423千円となりました。

主な要因は、有形固定資産が61,627千円増加する一方で、のれんが123,437千円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は22,719,033千円となり前連結会計年度末と比べ238,071千円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ507,036千円増加し、13,997,052千円となりました。

主な要因は、売上増加に伴う売上原価増加によって買掛金が864,415千円増加する一方で、未払法人税等が266,958千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ268,964千円減少し、8,721,980千円となりました。

主な要因は、長期借入金が293,277千円減少したことによるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,164,699千円となり、前連結会計年度末と比べ54,016千円減少しました。

主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により62,149千円増加する一方で、配当により119,585千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の連結業績予想につきましては、当社取引先である一部の電子書籍書店に悪影響を与えていた海賊版サイトが閉鎖したことによる業績への影響を精査するため公表を延期しておりましたが、閉鎖以降の売上回復状況に鑑み、連結業績予想数値について概ね算定可能な状態になりましたので、公表いたします。

なお、詳細につきましては本日リリース予定の「業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,685,539	4,830,306
売掛金	8,468,867	9,386,915
その他	434,026	664,605
貸倒引当金	△1,597	△1,518
流動資産合計	14,586,835	14,880,309
固定資産		
有形固定資産	499,411	561,038
無形固定資産		
のれん	6,588,497	6,465,060
ソフトウェア	209,718	192,215
ソフトウェア仮勘定	461,449	491,321
その他	105,589	104,716
無形固定資産合計	7,365,255	7,253,313
投資その他の資産		
投資有価証券	3,738,556	3,772,026
長期前払費用	24,208	21,391
繰延税金資産	120,067	85,275
差入保証金	365,333	310,368
その他	10	10
投資その他の資産合計	4,248,174	4,189,071
固定資産合計	12,112,842	12,003,423
資産合計	26,699,677	26,883,733

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,855,783	10,720,199
1年内返済予定の長期借入金	2,448,108	2,410,608
未払法人税等	376,421	109,463
賞与引当金	121,697	220,916
ポイント引当金	41,093	40,967
その他	646,913	494,897
流動負債合計	13,490,016	13,997,052
固定負債		
長期借入金	8,938,396	8,645,119
その他	52,548	76,861
固定負債合計	8,990,944	8,721,980
負債合計	22,480,961	22,719,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,904	927,904
資本剰余金	1,831,004	1,831,004
利益剰余金	1,272,554	1,215,117
自己株式	△245	△245
株主資本合計	4,031,217	3,973,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,273	70,254
為替換算調整勘定	8,934	3,401
その他の包括利益累計額合計	65,208	73,656
新株予約権	100,143	96,469
非支配株主持分	22,146	20,792
純資産合計	4,218,715	4,164,699
負債純資産合計	26,699,677	26,883,733

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）
売上高	7,746,933	10,708,386
売上原価	6,709,670	9,447,659
売上総利益	1,037,263	1,260,727
販売費及び一般管理費	888,143	1,073,777
営業利益	149,120	186,949
営業外収益		
受取利息	3,195	1,690
助成金収入	1,400	2,864
補助金収入	—	13,330
その他	876	689
営業外収益合計	5,472	18,574
営業外費用		
支払利息	9,543	12,869
支払手数料	49,274	—
投資事業組合運用損	2,394	3,231
その他	1,031	263
営業外費用合計	62,243	16,364
経常利益	92,349	189,160
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,673
特別利益合計	—	3,673
特別損失		
固定資産除却損	—	1,245
特別損失合計	—	1,245
税金等調整前四半期純利益	92,349	191,588
法人税等	71,656	130,792
四半期純利益	20,692	60,795
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	42,044	△1,353
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△21,351	62,149

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）
四半期純利益	20,692	60,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,582	13,980
為替換算調整勘定	8,584	△5,532
その他の包括利益合計	△6,998	8,448
四半期包括利益	13,693	69,243
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,350	70,597
非支配株主に係る四半期包括利益	42,044	△1,353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 流通事業	メディア・ プロモーション 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,446,660	214,145	86,128	7,746,933	—	7,746,933
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	237	—	237	△237	—
計	7,446,660	214,382	86,128	7,747,170	△237	7,746,933
セグメント利益又は損失 (△)	156,223	△22,672	15,569	149,120	—	149,120

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを従来の「電子書籍事業」、「音楽・映像事業」、「ゲーム事業」及び「その他事業」の4つのセグメントから、2017年3月31日に株式会社出版デジタル機構の株式取得により、同社を子会社化したことなどから、事業区分を見直し、「電子書籍流通事業」、「メディア・プロモーション事業」及び「その他事業」の3つのセグメントに変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社出版デジタル機構の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「電子書籍流通事業」においてのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては5,078百万円でありま

す。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 流通事業	メディア・ プロモーション 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,510,736	131,403	66,246	10,708,386	—	10,708,386
セグメント間の内部売上高又は 振替高	361	8,816	300	9,477	△9,477	—
計	10,511,097	140,219	66,546	10,717,864	△9,477	10,708,386
セグメント利益又は損失 (△)	196,434	△21,971	21,207	195,671	△8,721	186,949

（注）セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。